

施策番号	2104		
施策名	市内各地における個性豊かで魅力的なまちづくり		
概要	山間部や市街地をはじめ市内の各地で、民間活力の導入や都市計画手法の活用を含め多様な施策を総合的に推進することにより、歴史や伝統に裏打ちされた地域の資源を生かしたまちづくりを進める。		
担当局・部室	都市計画局・都市企画部	共管局・部室	
上位政策	21 土地利用と都市機能配置		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市都市計画マスタープラン、職住共存地区整備ガイドプラン、 新・京都市南部創造まちづくり推進プラン、 らくなん進都（高度集積地区）まちづくり推進プログラム、京都駅南口周辺地区まちづくり指針		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		年度	23年度	24年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	地区計画、建築協定及び景観協定の締結数 (件)	-	c	126	126	4件増	0.0%	e	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
			c	客観指標総合評価				e	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		24年度回答						
		そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない	有効回答 者数	評価
1	身近な地域が魅力的になっている。	48	159	206	68	35	516	c
		9.3%	30.8%	39.9%	13.2%	6.8%		
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						c



3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

D	施策の目的があまり達成されていない						23 年度	C
	重み付け	☐ 客観指標	e	☒ 市民の実感	c			
(重み付けの理由) 客観指標は地区計画等の締結数としており、少なくともこれらの地域では地域の個性を生かした魅力的なまちづくりが展開されていると判断されるが、全てのまちづくり活動を捕捉したものではないため、身近な地域が魅力的か否かを全般的に捉えられる市民生活実感調査を優先している。								
(原因分析) ・平成23年度は、評価上の地区数に関して、地区計画が1件増だったが、建築協定が新たに1件締結されたのに対し、2件の有効期間満了による失効があったため、前回数値からの推移がなく、客観指標においてeという評価となった。 ・昨年に引き続き、職住共存地区、らくなん進都などの地域において都市計画手法の活用を含め多様な施策を総合的に推進したことにより、各地域で自主的なまちづくり活動が行われており、市民の実感としてcという一定の評価を得た結果となった。							年度	-

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		24年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		23年度 決算額	24年度 予算額		
1	下京区西部エリア活性化事業	—	24,735	—	総合企画局
2	岡崎地域活性化ビジョンの推進	58,010	68,559	かなり良い	総合企画局
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・引き続き、各地域において、都市計画手法の活用を含め多様な施策を総合的に推進するとともに、地域住民に身近な区役所とも連携しながら、全市的な取組の展開を図り、個性豊かで魅力的なまちづくりの実現を目指す。
・京都市・景観まちづくりセンターと連携しながら、職住共存地区に限らず市域全体を対象に、まちづくりビジョンの作成や、都市計画手法の活用を念頭に置いた地域まちづくり支援を行う。

施策名	2104	市内各地における個性豊かで魅力的なまちづくり				
指標名	地区計画、建築協定及び景観協定の締結数（件）					
担当課	都市づくり推進課		連絡先	2 2 2 - 3 5 0 3		
1 指標の説明						
地区計画、建築協定及び景観協定の締結数						
2 指標の意味						
地域の魅力の高まりにつながる地域まちづくり活動の活性化状況を示す指標						
3 算出方法・出典等						
出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値 22年度	最新数値 23年度	推移	数値	目標値 根拠	達成度
数値	126	126	増減なし	4件増	平成32年度の目標達成のために当年度達成すべき数値（今後10年間で155件の締結を達成するため、年平均3.2件以上締結）	0.0%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						
5 評価基準						
前回数値と比較し、 a：4件以上増 b：3件増 c：2件増 d：1件増 e：0件以下			6 基準説明			
			・目標値を達成すればa評価 ・以下1件刻みでb～e評価 ※なお、協定の更新に伴い複数の地区を統合した場合、地区数が減少することになるが、協定の区域は変わらないため、地区数の減はカウントしない。			
7 評価結果						
		23	24			
	-	c	e			